



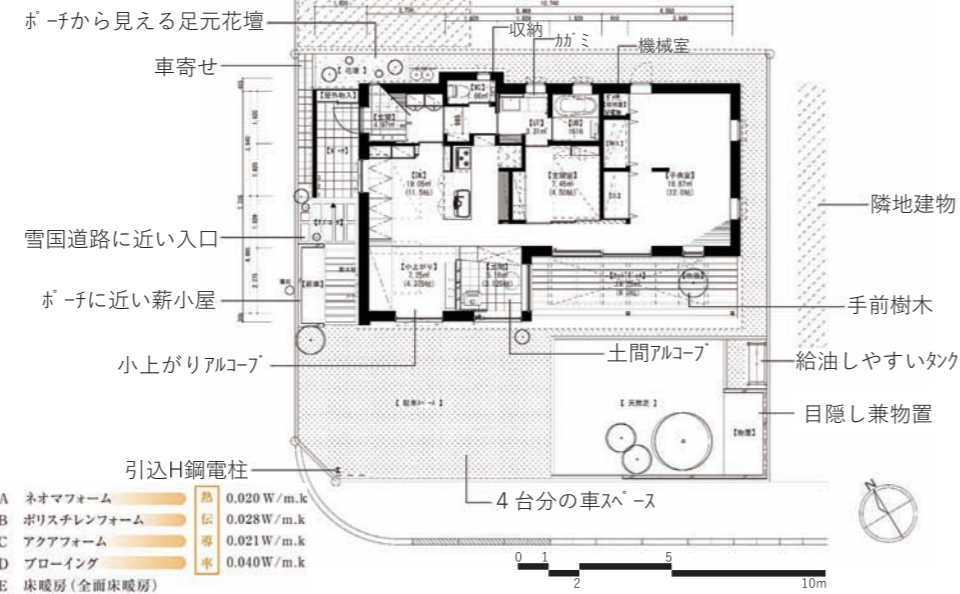
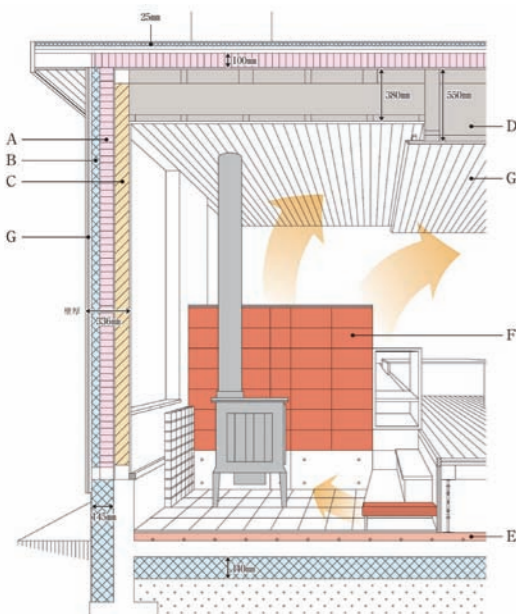
■省エネルギー性能（地域区分：2地域）  
 UA値：0.19W/m<sup>2</sup>K C値：0.4cm<sup>2</sup>/m<sup>2</sup> n値：夏1.7 冬1.2  
 一次エネルギー消費量：83.6GJ/年



数字で表すだけの性能ではなく「北海道らしさ」という点から、明快な四季の中で、内と外を緩やかに繋ぎ、上質な設えと小さくても豊かに暮らせる知恵や暖かく保つアルコーブ空間を持つことで生活が彩られる。永く、そこに存在する住宅は決して性能だけが低い住宅だけではなく、愛される住宅である。

■温熱環境デザイン

札幌版次世代住宅のハイレベル仕様の外皮性能にすることによって、朝に1回薪を軽く焚くだけで翌朝まで20℃以上をキープする。機械に頼らない、限りなく自然に近い形で、安定した室内環境を維持しているローテクパッシブデザインが、この住まいの特徴である。



■持続可能なデザイン

北海道の住まいは、素朴で力強く雪に映える美しい佇まいで、永く愛されるデザインでかつ単純であることがサステナブルと考える。高機能な機械に頼ることのないローテクでシンプルな温熱デザインと、環境に合った住み心地の良いデザインが、北海道の気候・風土に適し、素朴で品のある美しい家が道民の潜在的に求める姿と考える。表1は真冬の1月に薪を焚く前のデータで外気温が氷点下でも、玄関と奥の子供室は20℃以上をキープしている。

△表1



△ダ イング からキッチン方向  
 △小上がりからダ イング 方向  
 △キッチンからダ イング 方向  
 △ダ イング と小上がり  
 ▽キッチンから土間・小上がり方向：低い位置から温め、天井は限りなくフラットに納める

■建築概要

名 称：玄空舎～GenMokuSya～  
 設計者：株式会社 藤城建設 川内玄太  
 施工者：株式会社 藤城建設

所在地：北海道札幌市北区  
 構 造：木造在来軸組工法  
 階 数：平屋  
 延面積：82.82m<sup>2</sup> (25.0坪)  
 竣工年：2017年1月

